

令和元年度決算に係る  
定期監査資料

令和2年7月

西部教育局

## 目

## 次

1	前年度指摘事項等に対する措置等	1頁
	(1) 指摘事項	
	(2) 監査意見	
2	前年度県議会決算審査特別委員会の指摘事項に対する処理状況	1
3	職員の定員、現員調べ	1
4	役付職員の調べ	1
5	主な事業に関する調べ	2～4
6	収入証紙取扱額調べ	5
7	現金の取扱状況	5
8	財産に関する調べ	5
	(1) 公有財産	
	(2) 金券類の保有状況	
9	財産の貸付及び使用許可調べ	6
	(1) 土地及び建物	
	(2) 物品	
10	借受不動産明細調べ	6
11	職員駐車場の管理状況調べ	6
	(1) 管理状況	
	(2) 減免の考え方	
	(3) 使用料の見直し	
12	寄附物件の受納状況調べ	7
13	備品の処分状況調べ	7
14	現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ	7
	(1) 現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ	
	(2) 物品の照合	
15	小中学校等への支援の状況調べ	7
○	意見、要望等	8

注 個別調査事項（共通様式以外の個別調書様式に示されている事項）がある場合は、「○意見、要望等」の前に、その個別調査事項を記載すること。

1 前年度指摘事項等に対する措置等

(1) 指摘事項

該当なし

(2) 監査意見

該当なし

2 前年度県議会決算審査特別委員会の指摘事項（口頭指摘を含む。）に対する処理状況

該当なし

3 職員の定員、現員調べ

（令和2年2月1日現在）

種別 区分	事務職員		技術職員		現業職員		計		備考
	当該年度	31.4.1現在	当該年度	31.4.1現在	当該年度	31.4.1現在	当該年度	31.4.1現在	
定員	14	14	1	1	0	0	15	15	
現員	14	14	1	1	0	0	15	15	
過不足(△)	0	0	0	0	0	0	0	0	
臨時職員	0	0	0	0	0	0	0	0	
非常勤職員	0	0	0	0	0	0	0	0	

4 役付職員の調べ

（令和2年7月1日現在）

職名	氏名	在職期間		備考
		年	月	
局長	(兼) 藤谷 雄一	0	3	西部総合事務所参事監
次長	青砥真由美	0	3	出納員

5 主な事業に関する調べ

(単位：千円)

事業名	決算(見込)額	財源内訳		
		国庫支出金	その他	一般財源
学校を支える教育環境の充実事業 (学事担当)	1,902			1,902
鳥取元気プロジェクト	—			
元気づくり総合戦略	—			
<p>(概要)</p> <p>ア 目的及び事業の実施状況</p> <p>(ア) 目的</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学校教育目標達成のための教職員の効果的な配置、人材確保を図る。</li> <li>・ 教職員の資質、能力の見極め及び採用・昇任試験の適正な実施をする。</li> <li>・ 学校課題解決のために教職員の加配措置を図る。</li> <li>・ 教職員の勤務の適正化を図る。</li> </ul> <p>(イ) 事業の実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 校長の学校経営方針や課題、加配職員の活用状況等(小学校112人、中学校70人)について、学校訪問の際に情報交換を年間2回以上実施した。</li> <li>・ 全ての小中学校を計画的に訪問し、全ての教員の授業参観を行った。特に新規採用者、講師等には面談を行い、教員としての取組課題を整理し、助言した。</li> <li>・ 学校課題等把握のために市町村教育委員会と双方向での情報提供を行いながら、市町村教育長会においても意見交換を複数回実施した。</li> <li>・ 計画訪問の際、授業参観や校長協議等を市町村教育委員会と合同で行うなど、連携の強化を図った。</li> <li>・ 教職員の資質向上を考えたとき、サービス監督者としての市町村教育委員会の担当者がいかに学校を支援・指導するかが重要であるため、市町村教育委員会担当者とともに教職員の人材育成や人事管理のポイントを共通理解し情報交換を行った。</li> <li>・ 給与・勤怠管理システムの導入に伴い、円滑な活用等ができるよう、指導助言を行った。</li> </ul> <p>イ 令和元年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学事担当と学校教育担当が情報共有を密にし、学校課題の内容、取組状況等を把握するなど、事前準備を昨年度よりもさらに入念に行い学校訪問に臨んだ。</li> <li>・ 給与・勤怠管理システムの円滑な活用に向けたQ&amp;Aの作成等で対応をしてきた。</li> </ul> <p>ウ 成果及び効果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 教育長や校長との協議を密にすることにより、国や県教委の考え方を理解し、学校及び市町村教育委員会の意向を尊重した教職員の配置や加配措置を図ることができた。</li> </ul> <p>エ 課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 教職員の効果的な配置に向け、今後も都市間での人事交流の促進を図ることが必要であるが、そのためには多面的な情報分析を今後も継続して実施していくことが必要である。</li> <li>・ 給与勤怠管理システムの円滑な活用に向けた修正部分の確認等をして改善を図っていく。</li> <li>・ 事務のあり方検討について各市町村教育委員会に情報共有を行いながら、新たな取組を行うための支援を行っていく。</li> <li>・ 教職員の人材不足のため、大学訪問等による鳥取県教員採用試験等の説明会、高等学校へキャリア教育の視点を持った講演会の実施、ハローワーク等での求人募集を通して人材確保を行っていきたい。</li> </ul>				

事業名	決算(見込)額	財源内訳		
		国庫支出金	その他	一般財源
学ぶ意欲を高める学校教育の推進事業 (学校教育担当)	7,857			7,857
鳥取元気プロジェクト	—			
元気づくり総合戦略	—			
(概要)				
ア 目的及び事業の実施状況				
(ア) 目的				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校の実態把握に努め、課題解決に向けての支援を行う。</li> <li>・研修内容の実践化を図り、教職員の指導力・授業力の向上を実現する。</li> </ul>				
(イ) 事業の実施状況				
【学校訪問】				
○計画訪問(計28回)				
→市町村教育委員会が行う計画訪問に県教育委員会も同行し、学校経営や研究推進等についての助言を行った。				
○要請訪問・依頼相談(主に特別支援教育)等(計178回)				
→学校(園)からの要請を受け、教育課程の内容に基づいた授業づくりや研究推進におけるマネジメント等についての情報提供や助言を行った。また、専門的な見地からの研修や個別相談への対応を行った。				
○学事同行型訪問(計101回・延べ115人)				
1学期46回・50人対応、2学期55回・65人対応)				
→学事担当が行う年間2回の学校訪問に同行し、PDCAサイクルの実現に対する支援を行うとともに、日常の授業改善が円滑に行われるよう支援を行った。				
【地域課題に応じた学力向上推進事業】				
① 主体的・対話的で深い学びの実現による学力向上事業				
② 西部教育の未来を支える人材育成事業				
③ 単元到達度評価問題の実施(小学校算数3年～6年)				
小学校国語科問題配信				
【島根大学との共同研究】				
① 小学校算数科に係る共同研究				
② 小学校外国語、中学校外国語に係る共同研究(指導力向上研修、定期テスト作成研修)				
③ 中学校におけるCHACHACHAプログラムの実施				
イ 令和元年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校訪問の在り方を市町村教育長と検討し、2回の学事同行型訪問として実施。地域で重視してきた「めあて—まとめ・振り返り」の授業づくりを一層浸透させるとともに、新学習指導要領における授業づくりの具現化を目指した授業づくりを推進した。</li> </ul>				
ウ 成果及び効果				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校訪問では、「めあて—まとめ・振り返り」を中心に助言を行ってきたことで、西部圏域全体で授業づくりの重点が定着した。</li> <li>・全国学力・学習状況調査では、学力の伸長が見られ、域内の課題解決が実現しつつある。(「全国平均と同等、上回る」→小学校算数(全国平均との差 H30△2.5、H31△0.6)、中学校国語(H30+0.4、H31+0.2)、中学校数学(H30△0.5、H31+1.2))</li> </ul>				
エ 課題				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・不登校の増加等、多様化する児童生徒への対応に苦慮する学校も見られ、今後、課題解決に向けた着実な取組が必要。</li> <li>・新学習指導要領の具現化に向けたさらなる学校支援が必要(例 プログラミング教育等)。</li> </ul>				

(単位：千円)

事業名	決算(見込)額	財源内訳		
		国庫支出金	その他	一般財源
社会全体で学び続ける環境づくり事業(社会教育担当)	776			776
鳥取元気プロジェクト	—			
元気づくり総合戦略	—			
(概要)				
ア 目的及び事業の実施状況				
(ア) 目的				
・生涯学習社会を支える家庭や地域の基盤強化を図る。				
(イ) 事業の実施状況				
事業名	開催日	会場	参加者	内容
人権・同和教育振興会議社会教育関係者研修会	6月12日	南部町天萬庁舎 まんでんホール	社会教育施設職員 (56名)	講和とフィールドワークを通して、自らの人権感覚の振り返りを行った。
	6月22日	西部総合事務所 講堂	小・中・高・特支のPTA (106名)	「子育てで大切にしたいこと」をテーマに参加体験型学習とPTA研修会の情報交換を行った
	8月20日	南部町天満庁舎 まんでんホール	市町村人権教育担当者 (12名)	若手の教職員との合同研修会を行い、今後の人権・同和教育について協議した。
生涯学習実践道場(七夕学校)	7月5日	大山青年の家	社会教育関係者(121名)	「集え西部の元気人」をテーマに学校形式でいろいろな分野の授業を体験した。
西部地区子育て支援関係者研修会	6月1日	ふれあいの里	保護者、子育て支援関係者 (198名)	子どもの基本的な生活習慣の中で「睡眠」の大切さについて研修をした。
ふるさとキャリア教育等支援事業	7月13日	岸本中学校	中学生・大学生・大人 114名	生き方や働くということについて、中学生、大学生、地域の大人で対話を通して、お互いが学びあった。
	9月28日	境港市立第二中学校	167名	
	2月10日	溝口中学校	55名	
イ 令和元年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・子育て支援関係者研修会では、直接子供にかかわる保護者へ呼びかけたり、米子市教育委員会と共催し、多くの関係者が参加するようにした。</li> <li>・ふるさとキャリア教育等支援事業では、中学生と大人の対話がそれぞれにもたらす効果を広報し、中学生と大人の対話する手法が広がるようにした。</li> </ul>				
ウ 成果及び効果				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・継続して参加体験型学習について体験してもらうことで、小中学校のPTA研修に取り入れられ、広がってきた。</li> <li>・西部地区全体の子育て世代の保護者、子育て支援関係者が一堂に会し、一つ的话题を学ぶことでそれぞれの地域での話題や取り組みにつながった。</li> <li>・中学生の地域への関心が高まり、地域の大人は学校への支援・協力する意識が生まれ、学校を核とした地域づくりの一歩となった。</li> </ul>				
エ 課題				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者の参加する研修会は、継続することで地域全体の学びになり、地域の教育力の向上につながるので、継続した取組を行う必要性がある。</li> <li>・「学校を核とした地域づくり」が持続可能なものになるために、地域コーディネータの養成、配置が必要となる。</li> </ul>				

6 収入証紙取扱額調べ

有 ・  無

7 現金の取扱状況

ア 現金取扱状況  
該当なし

イ つり銭の状況  
該当なし

8 財産に関する調べ

(1) 公有財産

ア 土地  
該当なし

イ 建物  
該当なし

ウ 山林  
該当なし

エ 動産（船舶、浮標、浮棧橋、浮ドック、航空機）  
該当なし

オ 物権  
該当なし

カ 無体財産権（特許権、著作権、商標権、実用新案権等）

（ア） 異動状況  
該当なし

（イ） 出願及び登録の状況  
該当なし

（ウ） 活用の状況  
該当なし

キ 有価証券  
該当なし

(2) 金券類の保有状況

ア 金券の保有状況  
 有 ・ 無

イ タクシーチケットの保有状況  
該当なし

9 財産の貸付け及び使用許可調べ

(1) 土地及び建物

ア 土地

該当なし

イ 建物

該当なし

(2) 物品

(令和元年12月31日現在)

品名	数量	規格・銘柄	貸付期間	貸付料 (円)		貸付先	使用場所	貸付目的	備考
				単価	本年度の貸付料	住所 氏名			
WISC-IV 知能検査 用具	一式		H31.4.24 ～ H31.4.26	月額・年額	無料	伯耆町真野971番地 伯耆町立八郷小学校	八郷小学校	児童の特性を把握し 、支援に生かすため 。	
同上	同上		R元.5.27 ～ R元.5.29	月額・年額	同上	同上	同上	同上	
同上	同上		R元.7.30 ～ R元.8.5	月額・年額	同上	境港市誠道町2062 番地 境港市立誠道小学校	誠道小学校	同上	
同上	同上		R元.10.3 ～ R元.10.9	月額・年額	同上	伯耆町真野971番地 伯耆町立八郷小学校	八郷小学校	同上	
同上	同上		R元.12.16 ～ R元.12.19	月額・年額	同上	同上	同上	同上	
合計									

10 借受不動産明細調べ

該当なし

11 職員駐車場の管理状況調べ

(1) 管理状況

該当なし

(2) 減免の考え方 (減免を行った場合のみ)



- 該当なし  
 (3) 使用料の見直し  
 該当なし
- 1 2 寄附物件の受納状況調べ  
 該当なし
- 1 3 備品の処分状況調べ  
 該当なし
- 1 4 現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ  
 (1) 現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ  
 有 ・  無  
 (2) 物品の照合  
 有 ・ 無
- 1 5 小中学校等への支援の状況調べ

(令和2年3月31日現在) (単位:回)

区 分 月 別	保 育 所 ・ 幼 稚 園		小 学 校		中 学 校		特 別 支 援 学 校		高 等 学 校		合 計	
	来 所	訪 問	来 所	訪 問	来 所	訪 問	来 所	訪 問	来 所	訪 問	来 所	訪 問
4月	0	3	2	14	0	2	0	3	0	19	2	41
5月	0	6	3	48	0	19	0	2	1	18	4	93
6月	1	3	2	65	0	17	0	0	0	22	3	107
7月	0	18	1	23	6	13	0	0	0	16	7	70
8月	0	12	3	8	1	3	0	0	0	5	4	28
9月	1	9	1	26	1	13	0	2	1	20	4	70
10月	0	26	4	84	0	24	0	0	0	16	4	150
11月	0	15	0	58	0	51	0	1	1	22	1	147
12月	2	13	2	12	0	28	0	1	0	15	4	69
1月	2	10	2	29	0	16	0	1	0	19	4	75
2月	0	9	0	20	0	2	0	0	0	15	0	46
3月	0	6	0	1	0	0	0	1	0	11	0	19
計	6	130	20	388	8	188	0	11	3	198	37	915
前年度	0	82	31	351	9	162	0	13	10	179	50	787
前々年度	4	134	36	285	9	114	0	20	6	190	55	743

○ 意見、要望等

(1) 業務に関する意見・要望等  
特になし

(2) 監査委員事務局に対する要望等  
特になし